

## 記者発表(資料配布)

月/日	担当課(室)係名	TEL(代表)	発表者名	資料配布先
9/21(木) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559)2001	次長 田原 直樹 (安井 健二)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

### 開館25周年記念展示

#### 「ひとはく研究員のいちおし25選 (秋の部)」の開催について

#### 1 主旨

兵庫県立人と自然の博物館(ひとはく)は、今年度で25周年を迎えます。動物や植物、化石など様々なテーマについて、ひとはく研究員が自らの研究分野の中から、開館25周年にちなんで25点を選んで展示します。

この開館25周年記念展示は、初夏・夏・秋・冬の4期に分けて実施します。秋の部は、3つの展示を行います。

#### 2 記念展示名

- (1)「岩槻名誉館長が選ぶシダ25選」担当：岩槻邦男(別紙1)
- (2)「中瀬館長が選ぶ“にわ”25選」担当：中瀬 勲(別紙2)
- (3)「ボタニカルアートでみる日本の固有植物25選」担当：橋本佳延(別紙3)

#### 3 展示概要

- (1) 期 間：平成29年10月7日(土)～平成30年1月8日(月・祝)
- (2) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 3階オープンギャラリー、4階ひとはくサロン
- (3) 展 示 物：別紙参照
- (4) 主 催：兵庫県立人と自然の博物館

#### 4 問い合わせ

兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課  
電話：079-559-2002

## 開館25周年記念展示「岩槻名誉館長が選ぶシダ25選」

## 1 主旨

岩槻名誉館長の最狭義の研究課題はシダ植物の種多様性の解析です。シダ植物の何が研究材料として魅力的だったのか、ひとはく開館25周年記念の特別企画として、25種のシダを選んでその魅力を語ります。幼いころの山菜採りで出合ったシダ植物、中学・高校時代のクラブ活動におけるシダ、大学・大学院時代にシダを材料とした研究に専念しようと思ったきっかけ、研究活動で実際に活用した種など、およそ1万種の現生種から選んだ25です。

## 2 展示概要

- (1) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 4階ひとはくサロン  
 (2) 展 示 物：解説パネル、写真、関連図書、さく葉標本、生体標本など

## 3 担当

兵庫県立人と自然の博物館 名誉館長 岩槻邦男  
 (問い合わせ先：主任研究員 半田 久美子 [handa@hitohaku.jp](mailto:handa@hitohaku.jp))

## 4 主な展示物

- ・シダに惹かれる過程で出合った種：ワラビ、ジュウモンジシダら
- ・シダ研究のきっかけをつくった種：ミズニラ、ツクシ、ゼンマイ科ら
- ・学位論文の材料になったシダ：ヒメシダ科
- ・属について詳しく調べたシダ：ヘゴ属、ヘツカシダ属ら
- ・文化にともなう進化の研究材料：ハウビシダ属、ベニシダなど
- ・修士論文以来最も長くつきあったシダ：コケシノブ科



スファエロキオニウム属の一種  
 マレーシアサバ州にて。葉の全面に毛を生じ、特殊な進化ととげた種であるが、乾燥地に適応したものではなく、多湿な雲霧林に限られている。いまでは広義のコケシノブ属に含まれる。



ヒメノグロッサム属の一種  
 チリに固有の単葉のコケシノブの1種。無毛の単葉で、辺縁につく胞子嚢群が特徴的。長く単型の属とみなされていたが、広義のコケシノブ属に含まれることが分かってきた。



ベニシダ  
 文化にともなう進化の研究材料となった種。人為によって変貌させられた環境に生育し、その進化を駆け込み進化とよんで『文明が育てた植物たち』(1997)で追跡した。

## 開館25周年記念展示「中瀬館長が選ぶ“にわ”25選」

### 1 主旨

“にわ”は人々の暮らしとともにあり、自然の美しさや季節の移ろいを感じる場として古くから親しまれ、我が国独自の“にわ”文化と技術が育まれ、継承されています。

今回の展示会では、当館が25周年を迎えることから、館長中瀬が訪れた全国の素晴らしいにわの中から25のにわを選びすぐって写真を展示します。

### 2 展示概要

(1) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 4階ひとはくサロン

(2) 展 示 物：にわの額装写真25点、解説パネル1点

### 3 担当

兵庫県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲

(問い合わせ先：研究員 大平 和弘 [ohira@hitohaku.jp](mailto:ohira@hitohaku.jp))

### 4 関連講座

・ 講座名： 館長と行く庭園ツアーin兵庫

・ 日 時： 平成29年10月22日（日）13：00～16：00

・ 場 所： 相楽園（神戸市中央区中山手通 5-3-1）、  
東遊園地（兵庫県神戸市中央区加納町 6 丁目）

・ 対 象： 高校生以上（定員 20名）

・ 受講料： 1,000 円（別途入園料が必要）

・ 内 容： 上記展示に合わせて、スペシャル企画セミナーを開催します、にわ25選のうちの1つである「相楽園」を館長中瀬とともに散策し、その魅力について学びます。

### 5 展示予定写真



相楽園（兵庫県）



平等院（京都府）

## 開館25周年記念展示「ボタニカルアートでみる日本の固有植物25選」

## 1 主旨

日本には約7500種程度の陸上植物が知られていますが、このうち約2700種が日本の固有種です。固有種とはある地域に分布が限定される種のことです。日本固有種は日本にしか自然分布しない植物です。日本固有種はわが国の植物相の1/3を占める、その根幹をなしている重要な要素なのです。

兵庫県では約2400種の在来植物が確認されており、そのうち約500種（全体の約1/5）が日本固有種です。ひとはくでは、開館以来25年間かけてこれらの多くの標本を収集し、当館収蔵庫に収蔵しています。

本展示では、日本の固有植物のうち兵庫県に分布する25種（兵庫県固有種であるハリマサムシグサ *Arisaema minus* を含む）について、美しい彩色画や緻密な線画（ボタニカルアート）と植物のさく葉標本※により紹介します。植物のさく葉標本だけではなかなか伝わりにくい生育時の生き生きとした様子や、小さな花の内部の微細構造など、固有種の千差万別の魅力をお楽しみください。

※さく葉標本：植物を押し花にして乾燥させ保存する標本

## 2 展示概要

(1) 場所：兵庫県立人と自然の博物館 3階オープンギャラリー

(2) 展示物：植物画（彩色画・線画）25点、植物さく葉標本9点

## 3 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然環境再生研究部 橋本佳延

## 4 展示物の例



サンインシロカネソウ（キンポウゲ科）



ナツアサドリ（グミ科）